

会員数 58名
欠席者

出席者41名・欠席者14名・免除会員9名
麻田・後藤・和泉享・飯間・加内・松山・岸上・中野昌・曾川
橋・齋賀・山下・中川・大山-会員

前々回出席率

大山-会員
80%(1/12)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲
幹 事 細谷 誠
会報委員長 大西 信亮

お知らせ

- 2月のプログラム
2 (No.1)-クラブフォーラム
9 (No.2)-クラブフォーラム
18 (No.3)-市民講座
23 (No.4)休会

- ニコニコBOX;
祝結婚月
和泉清君
よいことがありました
秋山憲夫君
クラブフォーラムを終えて
塩田君
親睦ゴルフありがとうございました
細谷君
未来への手紙小5の娘が話して
いました。3年後が楽しみです
大西信君
ニアピンホール、全部パーオンして
富田君

<ニコニコ会計累積/¥263,000>

- がんばるBOX;
コンペの寄付金です
ゴルフ同好会

<がんばる会計累積/¥126,500>

例会場・事務局
丸亀市塩飽町50-3
丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

八田ガバナーは1月のガバナー月信において、DEI(多様性、公平性、インクルージョン)について発信をされています。お読みになられている方も多いと思いますが、改めてご紹介いたします。会員に求められている行動として

- ・他者を尊重する言葉を使う
- ・サポートを示す
- ・温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する
- ・多様性を重んじる

を求めています。またクラブ内でDEIを推進する方法についても具体的に述べられておりますので、ご確認ください。

障害者のインクルージョンについて面白い例があります。目に障害を持つ私がレジで暗証番号を入力していると、レジの係の人が一緒にいた友人に、「どうして彼はどのキーを打つかわかるの?」と質問しました。友人は目の前にいる彼に直接聞くように笑顔で答えました。同じようにお店で、「彼は砂糖を入れますか?」と聞かれた時も友人はそう答えました。

私たちは普段、障害のある方との直接的なコミュニケーションを避ける傾向があることは否めません。そのことが不自然であると思うような意識の方向性を持ち行動することが、自然とそれに接した周りの人たちの考え方を変えていくと思います。たとえば善行表彰、人知れず自然と行った、あるいは勇気をもって自らの規範に従った行動が、それを取り上げ表彰することで、多くの人たちに伝わり、心の豊かさが風に乗じ広まり、包み込んでゆくことを期待するものです。当クラブで行っていく様々な事業は、もちろん周りを変えようとするものでもありますが、先ほどの障害者の話の例のように、自分自身の考えや思い、視点などを少し見直すだけでも、自身の変化がDEIを含め周りの変化を生み出すものであると思います。2月3日、4日と幸福写真展を60周年記念事業の一つとして行いますが、根底にある考え方は同じであると思います。

その幸福写真展ですが、4日の14時から記念講演を予定しております。後ほど陶国会員からご案内があると思いますが、本来であれば例会変更をして皆様にお聞きいただきたい内容ですので、現在のところ実行委員会のメンバー数人の出席に留まっておりますが、是非とも出席いただけますよう私のほうからもお願い申し上げます。

■幹事報告

- ①IMIについて 積極的な参加をお願いいたします

■例会事業;クラブフォーラム;職業奉仕委員会 塩田委員長
今日は、職業奉仕について、皆さんと一緒に考えていければと思います。みなさんは「職業」についてどのように説明されますか。

英語では主に、生計をたてるためのoccupation、専門性の高いprofession、天職のvocationの3つの表現がありますが、ロータリーではvocationが用いられる事が多いように思います。

日本では所属している会社や組織がその人の人となりを保証するものになりがちですが、アメリカなどではその人がどんな技能を有しているのか、何が出来る人であるかを問題にしがちであるということです。有名な大きな会社に勤めていても専門は機械や化学、電気といった技術なのか、経理や経営なのか、営業なのか、広告なのか、それを問題にするということですね。



(裏へ続く)

国語辞典で職業についてひくと「生計を維持するために、人が日々従事する仕事」と書かれています。あえてわざわざ「職業」と言う場合は、「仕事」という表現とは区別して使われ、辞書類の定義文には「日常」や「継続」という言葉が入れられており、<継続性>は職業であることの重要な要件のひとつになっています。こういうところからも職業奉仕がSDGsとの親和性が高いと言う事が伺えますね。継続性の無いものは「仕事」とは呼べますが「職業」ではありません。「職業」という言葉には一次的・直接的に他人の、あるいは社会の役にたつという意味合いが含まれていると思います。

その人がどのような形で社会の役にたっているか、どのような役割を果たしているかということが、社会の中でどのような人であるかを示すわけです。ロータリーのマークは歯車ですがロータリアンは社会を回す歯車ということなのだと思います。皆さんにはいくつもの顔、社会・経済へ複数の関わり方をされている方も少なくないと思いますが、そのベースがなにか、というところがロータリークラブで分類される「職業」かだと思います。単純に金銭との交換というだけでなく、社会への責任をどう果たしているかが問われるわけです。

続いて「奉仕」について、この言葉が英語のサービスから翻訳される時点で少し誤解されたということも言われます。辞書を引くと奉仕とは「国家・社会や目上の者などのために、私心を捨てて力を尽くすこと。『社会に―する』』というものと、もうひとつ「商人が客のために特に安く売ること」となっています。

サービスは用役(ようえき)、役務(えきむ)と訳され、経済用語において、売買した後にモノが残らず、効用や満足などを提供する、形のない財のことであるとされることもあります。日本においては、「サービス」という言葉を商業的に「無料」、「値引き」、「おまけ」というような意味で用いていることが多く、誤解を招く要因となっているかもしれません。

ロータリーに奉仕の理念を導入したのはシェルドンだと言われています。親睦と事業上の利益の促進でスタートしたロータリーに、地域社会に対する貢献、公共への奉仕を追加したことによって、ロータリー・クラブの活動の方向性が定まったと言われています。その後、奉仕理念をロータリーに提唱し、ロータリーがそれを採択したことで、ロータリーは今日の発展を成し遂げることができたと言われています。

■会員自己紹介

天野 博司(あまのひろし)会員

【職業案内】 天野商事株式会社 (石油・塗料卸小売業)

【私のやりたいこと】

- ① 四国八十八か所 残りを回る
- ② 神宮球場へ行って ヤクルトを応援する
- ③ ロータリー国際大会に二回目 参加する
- ④ 温かい国へ行って ビーチサイドかプールサイドで朝食を食べる
- ⑤ FIFAワールドカップ2026 カナダ・メキシコ・アメリカ合衆国の共同開催を見に行く
- ⑥ 歯切れの良いスピーチを即興でできるようになる
- ⑦ すごく美味しいめざしを食べる

